

平成29年度
宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査
全国体力・運動能力，運動習慣等調査
学校保健関係調査

報告書

～子どもたち一人一人の体力向上のために～



平成30年3月

宮城県教育委員会

はじめに

各学校及び各関係機関の皆様には、日ごろから児童生徒の体力・運動能力の向上及び健康教育の充実に御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年3月にスポーツ庁が策定した第2期スポーツ基本計画では、5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策として、「スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実」を掲げ、「学校体育をはじめ子供のスポーツの機会の充実による運動習慣の確立と体力の向上」が挙げられています。このことは、次期学習指導要領においても、『学校教育活動全体を通じた体育・健康に関する指導』として示され、発達段階に応じた一層の取組が重要となっています。

県教育委員会では、昭和39年度から本県児童生徒の体力・運動能力を把握しその向上を図るための調査を開始し、平成18年度からは調査対象を全児童生徒に広げ、昨年度からは学校保健統計も含めた健康教育全体に目を向けて報告書を取りまとめることとしました。

本県の児童生徒の体力・運動能力の中長期的な傾向として、各校種において平成12年頃からゆるやかな向上傾向にあり、これまでの各学校における取組が確実に成果を上げつつあるものと考えていますが、全国的に見ると一層の向上が必要です。

体力・運動能力の向上のためには、どの発達段階にあっても、体力や技能の程度、性別及び障害の有無に関わらず、「運動やスポーツが楽しい」「もっとやってみたい」という運動への意欲をもたせることができるよう取り組むとともに、「肥満」や「むし歯」といった健康課題と併せて解決していくことが大変重要です。

各関係機関の皆様には、各地域やそれぞれの学校の特色を生かし、体育の授業、運動部活動、家庭との連携等の取組を学校全体として推進し、体力・運動能力の向上及び健康教育の充実のための取組を進めていただくようお願いいたします。

県教育委員会としましても、関係部署や関係機関との連携を一層深め対策を進めるとともに、各種教員研修会等の一層の充実を図っていききたいと考えています。

結びに、本調査の分析業務を担当していただきました宮城教育大学教育学部前田順一教授をはじめ保健体育講座の皆様から心から感謝申し上げますとともに、本県の子どもたちが生涯を通じて健康で活力ある生活を送り、本県の復興を支える力となることを願い、挨拶とします。

平成30年3月

宮城県教育委員会
教育長 高橋 仁

目 次

ページ

I 「平成29年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査」結果について

| | |
|--|----|
| 平成29年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査実施要項 | 1 |
| 1 校種別の平成29年度と平成28年度（前年度）との結果比較 | 2 |
| 2 平成29年度の県平均と地域別平均との結果比較 | 3 |
| 3 平成29年度宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査 平均値一覧 | 8 |
| 4 中期経年比較（平成19年度～平成29年度）〔小5・中2・高2男女〕 | 9 |
| 5 長期経年変化（昭和39年度～平成29年度）〔50m走：小5・中2・高2男女〕 | 10 |

II 「平成29年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査（宮城県分）」結果について

| | |
|---------------------------------------|----|
| 平成29年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査（宮城県分）調査の概要 | 11 |
| 1 体力合計点の推移 | 12 |
| 2 体力合計点における総合評価の分布 | 13 |
| 3 一週間の総運動時間の状況 | 14 |
| 4 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツが好き」と答えた児童生徒の割合 | 15 |
| 5 健康三原則（運動・食事・睡眠）に対する意識の状況 | 16 |
| 6 質問紙による調査 | 17 |
| 7 運動部活動等の加入率及び小学生の曜日ごとの運動時間の状況 | 18 |
| 8 普段の登校方法の状況 | 19 |
| 9 地域別の体力・運動能力の状況 | 20 |
| 10 web なわ跳び広場参加校の「体力合計点」の状況 | 22 |

III 学校保健関係調査結果について

「平成29年度学校保健統計調査」

| | |
|--------------------------------|----|
| 1 肥満傾向児の出現率 | 23 |
| 2 肥満傾向児の出現率の推移 | 24 |
| 3 むし歯被患者【処置完了者と未処置歯のある者】の割合の推移 | 25 |

「平成29年度宮城県児童生徒の健康課題統計調査」

| | |
|-------------------------|----|
| 1 地域別の肥満傾向児の出現率の状況 | 26 |
| 2 地域別の永久歯う歯り患の状況（う歯り患率） | 27 |

「平成29年度体力・運動能力，健康課題に係る取組状況調査」

IV 課題と取組

| | |
|-----------------------|----|
| 課題と今後の取組 | 31 |
| ○体力・運動能力調査結果の有効活用のために | 34 |

V 事例紹介

| | |
|--------------------------------|----|
| 1 体力・運動能力向上・健康課題に向けた取組事例の紹介と活用 | 37 |
| 2 小学校の取組事例 | 38 |
| 3 中学校の取組事例 | 48 |
| 4 小中学校の取組事例 | 56 |
| 5 高等学校の取組事例 | 57 |

I

宮城県小・中・高等学校児童生徒 体力・運動能力調査結果について



合理的な投げ動作の習得に向け,練習する小学生の様子

平成29年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査実施要項

1 調査目的

県内の児童生徒が自分の体力・運動能力を知り、その向上に関心を持ち、自ら体力・運動能力を向上させようとする意欲を育てるとともに、児童生徒の体力・運動能力の状況を保護者、教員等がしっかり把握し適切な指導や支援ができるようにする。

2 調査の内容と方法

(1) 調査の内容

| | | 小学校 | | 中学校 | | 高等学校（全日制） | |
|----|-------------------------|-----|---|-----|----|-----------|----|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 1 | 握力 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 上体起こし | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 長座体前屈 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 反復横とび | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 20m シャトルラン | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ |
| 6 | 持久走（男 1,500m, 女 1,000m） | | | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 |
| 7 | 50m 走 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8 | 立ち幅とび | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 | ソフトボール投げ | ○ | ○ | | | | |
| 10 | ハンドボール投げ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |

(2) 調査の方法

- ① 小学校児童は、スポーツ庁「新体力テスト実施要項」（6歳～11歳対象）により実施する。
- ② 中・高等学校生徒は、スポーツ庁「新体力テスト実施要項」（12歳～19歳対象）により実施する。

3 調査対象と人数

公立小・中・高等学校（全日制課程のみ）の全学年男女児童生徒（仙台市を含む）

4 調査実施時期

平成29年5月～平成29年10月初旬（小学5年生及び中学2年生については7月中旬までに実施）

5 調査記録の報告等について

「平成29年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査集計結果報告要項」による。 ※1

6 体力・運動能力調査記録カードについて

小・中学校及び高等学校の12年間継続して使用できる「体力・運動能力調査記録カード」の活用については、「宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査記録カード取扱要項」による。 ※2

7 実施上の一般的注意（文部科学省実施要項から）

- (1) テストの実施に当たっては、児童生徒の健康状態を十分把握し、事故防止に万全の注意を払う。特に医師から運動を禁止または制限されている者はもちろん、当日身体の異常（発熱、倦怠感など）を訴える者には行わない。なお、小学1年生については、健康診断を実施した後に行う。
- (2) テストは定められた方法のとおり正確に行う。また、あらかじめ練習を行いテスト種目に慣れておくことが望ましい。
- (3) テスト前後には、適切な準備運動及び整理運動を行う。
- (4) テスト場の整備、器材の点検を行う。
- (5) テストの順序は定められていないが、20m シャトルラン（往復持久走）及び持久走は最後に実施する。
- (6) 計器（握力計、ストップウォッチなど）は正確なものを使用し、その使用方法を誤らないようにする。また、すべての計器は使用前に点検することが望ましい。
- (7) 水泳授業後に50m 走や20m シャトルラン（往復持久走）及び持久走など走力や持久力を測る種目は実施しないこと。

※1, ※2…スポーツ健康課ホームページ参照

1 校種別の平成29年度と平成28年度（前年度）との結果比較

平成29年度の体力・運動能力調査の結果と平成28年度（前年度）の結果を、校種別、測定種目別に比較した。

| 区 分 | | 握力 | | 上体起こし | | 長座体前屈 | | 反復横とび | | シャトルラン | | 持久走 | | 50 m 走 | | 立ち幅とび | | ホ-ル投げ | |
|---------|---|----|----|-------|----|-------|----|-------|----|--------|----|-----|----|--------|----|-------|----|-------|----|
| | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 小 学 校 | 1 | | — | | | | | | — | — | — | | | | — | — | — | | — |
| | 2 | — | — | + | + | | + | — | — | | | | | | | | | | — |
| | 3 | | | + | + | | | — | — | | + | | | | | — | — | | |
| | 4 | | | + | + | + | + | | + | | | | | + | + | + | + | | |
| | 5 | + | | + | | + | | | | | | | | + | | + | | + | — |
| | 6 | | | | + | — | | | | | | | | | | — | | | |
| 中 学 校 | 1 | | | + | + | + | + | | | | + | | | + | + | | | | |
| | 2 | | + | + | + | | + | | + | | + | | | | + | | + | | + |
| | 3 | + | + | | | + | + | + | | | | + | | | | + | | + | |
| 高 等 学 校 | 1 | — | | | + | — | | — | | — | | — | | | | — | | — | + |
| | 2 | — | | — | — | | | | | — | — | | | + | | | | — | — |
| | 3 | — | | — | | | + | | + | — | — | | + | + | + | | | | |

【 表の記号について 】

- ・ **+** は明らかに向上した種目
- ・ **—** は明らかに低下した種目
- ・ 空欄は、有意な差が見られない種目

【 結果比較の概要 】 () は前年の割合

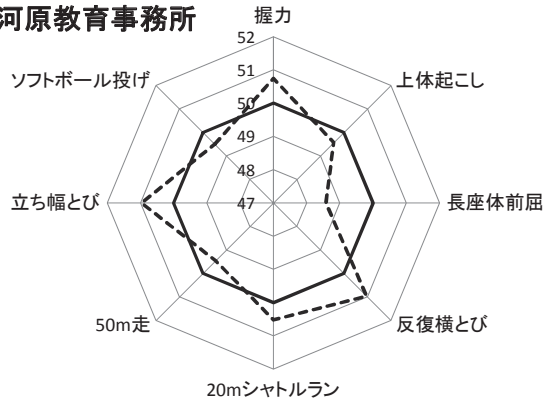
| 校 種 | 向上種目の割合 | 維持種目の割合 | 低下種目の割合 | |
|------|------------------|------------------|------------------|---|
| 小学校 | 22.9% (59.4%) | 55.2% (34.3%) | 21.9% (6.3%) | <ul style="list-style-type: none"> ・低学年の多くの種目で低下が見られた。 ・上体起こしが向上した学年が多く見られた。 ・4年生男女において多くの種目で向上が見られた。 |
| 中学校 | 44.4% (18.5%) | 55.6% (48.2%) | 0% (33.3%) | <ul style="list-style-type: none"> ・全学年男女の全種目において、有意な低下が見られなかった。 ・2学年女子は、9種目中8種目で向上が見られた。 ・上体起こしと長座体前屈において多くの向上が見られた。 ・3学年男子では、9種目中6種目の向上が見られた。 |
| 高等学校 | 14.8% (7.4%) | 51.9% (68.5%) | 33.3% (24.1%) | <ul style="list-style-type: none"> ・向上した種目の割合よりも低下した種目の割合が高くなっている。 ・昨年度に対して有意に向上している種目の割合は2倍である。 ・全学年男子において、握力、シャトルランで低下が見られた。 |

2 平成29年度の県平均と地域別平均との結果比較

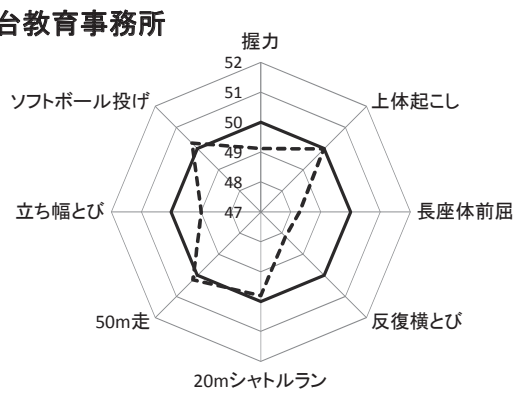
平成29年度の体力・運動能力調査について、地域別の状況をみるため、教育（地域）事務所ごとに、県平均との比較をレーダーチャートにまとめた。各グラフとも、県平均を50とし、各管内の記録を相対値で表した。なお、統一したスケールを用いるために、グラフに収まらなかった種目については、その値を種目の近くに記載している。

【小学校5年生男子】 (50の実線が県平均)

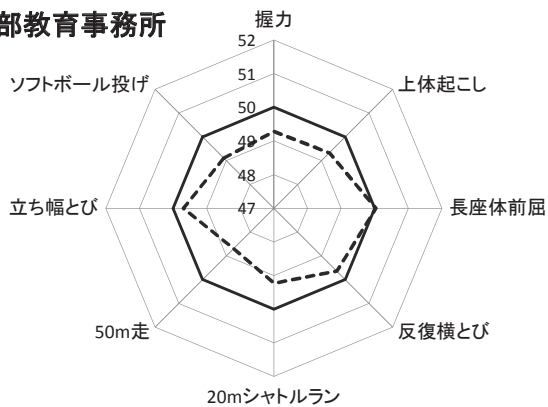
大河原教育事務所



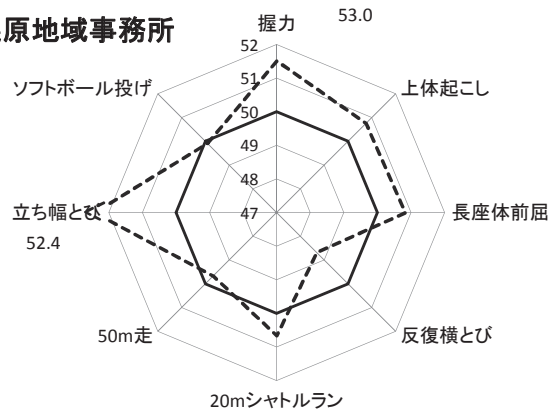
仙台教育事務所



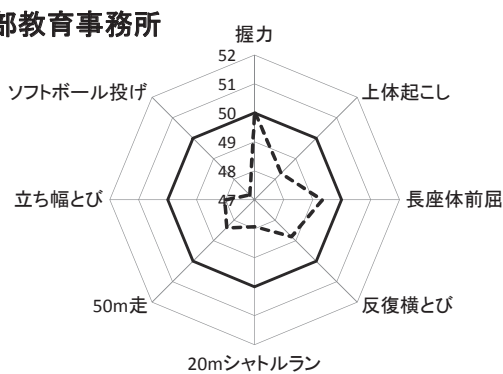
北部教育事務所



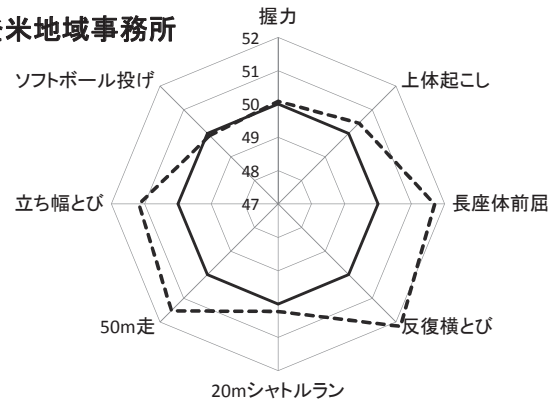
栗原地域事務所



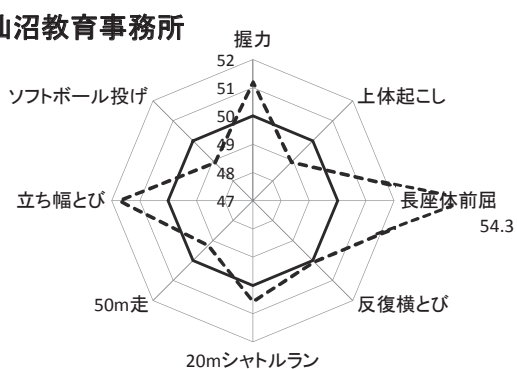
東部教育事務所



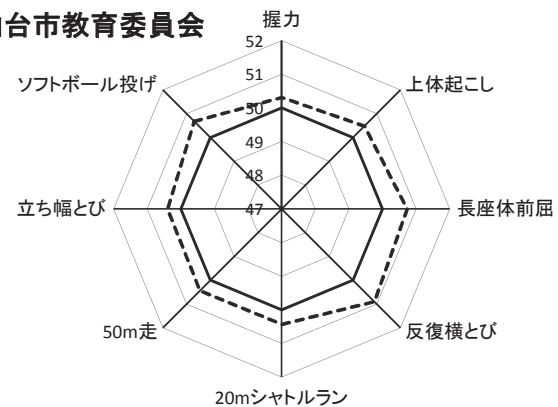
登米地域事務所



気仙沼教育事務所

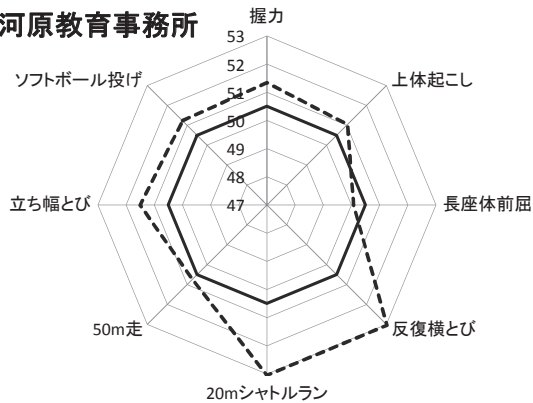


仙台市教育委員会

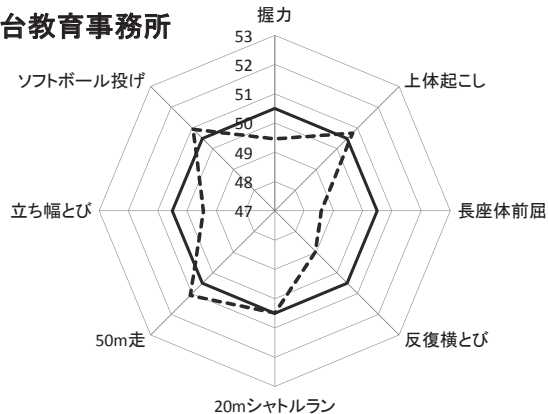


【小学校5年生女子】 (50の実線が県平均)

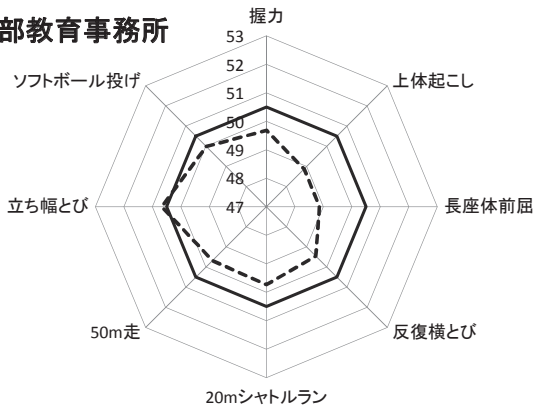
大河原教育事務所



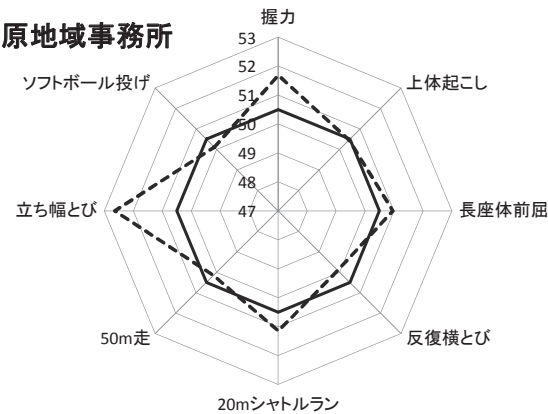
仙台教育事務所



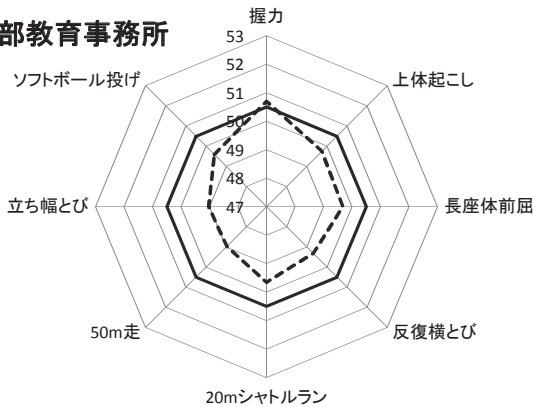
北部教育事務所



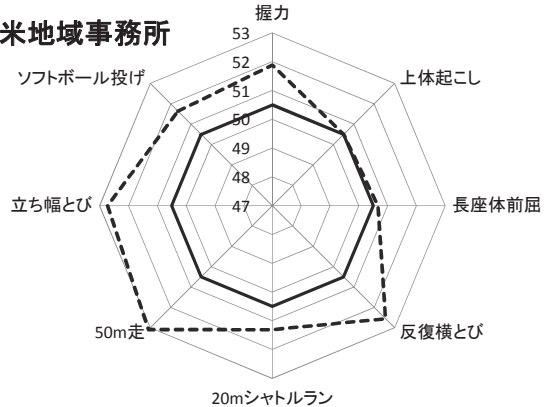
栗原地域事務所



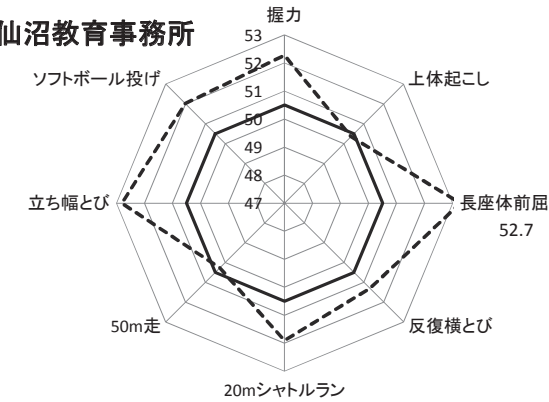
東部教育事務所



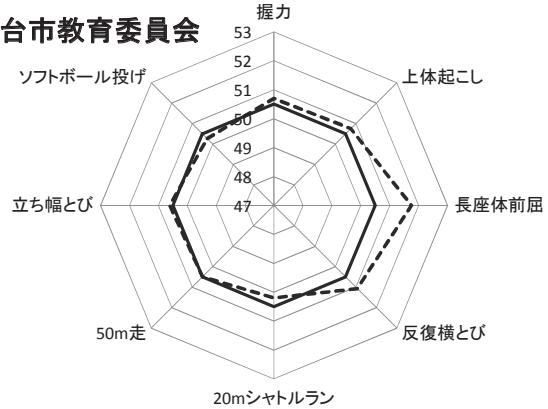
登米地域事務所



気仙沼教育事務所

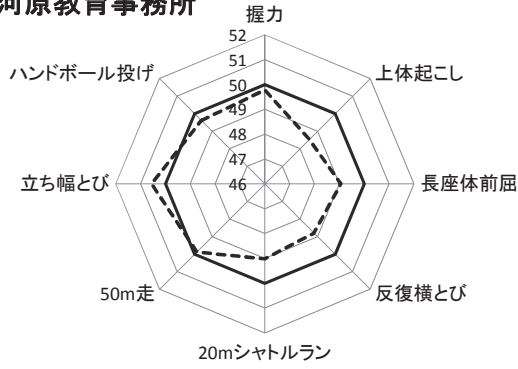


仙台市教育委員会

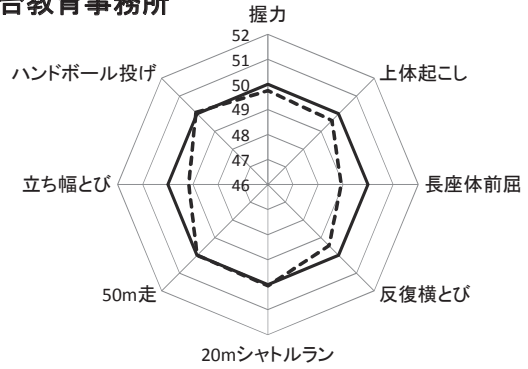


【中学校2年生男子】 (50の実線が県平均)

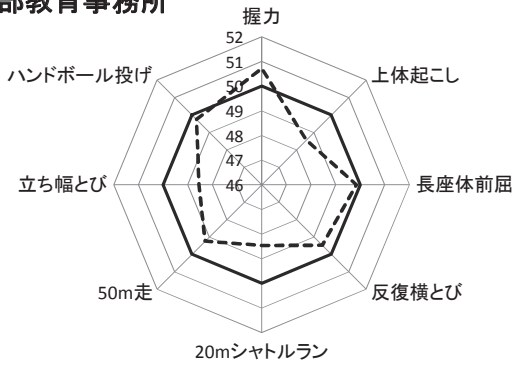
大河原教育事務所



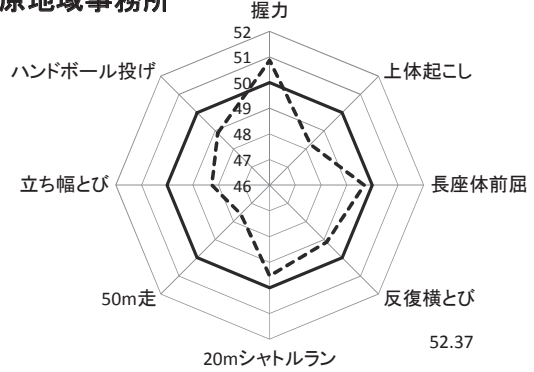
仙台教育事務所



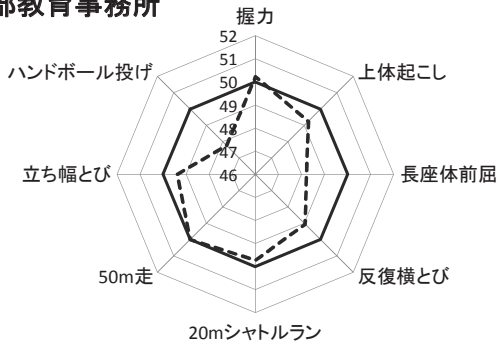
北部教育事務所



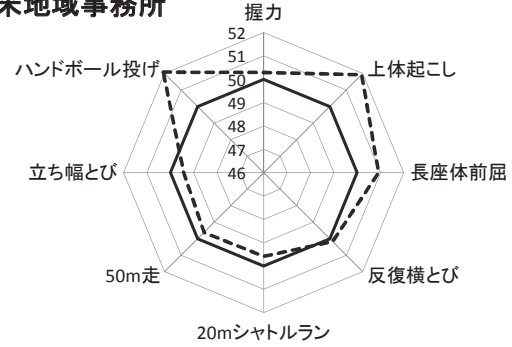
栗原地域事務所



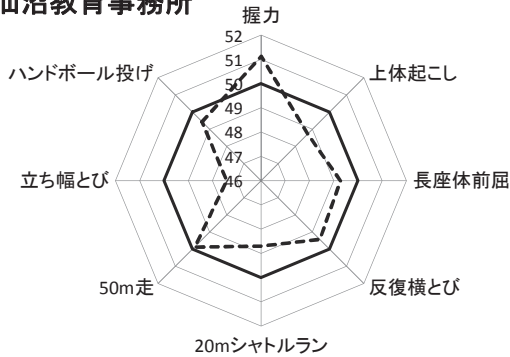
東部教育事務所



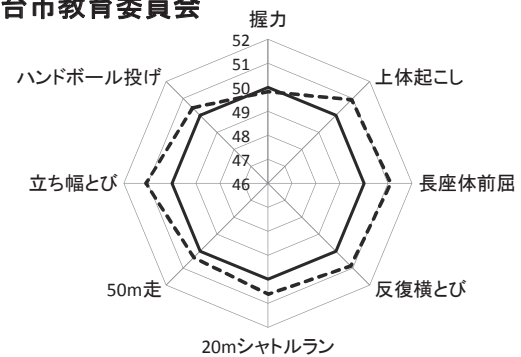
登米地域事務所



気仙沼教育事務所

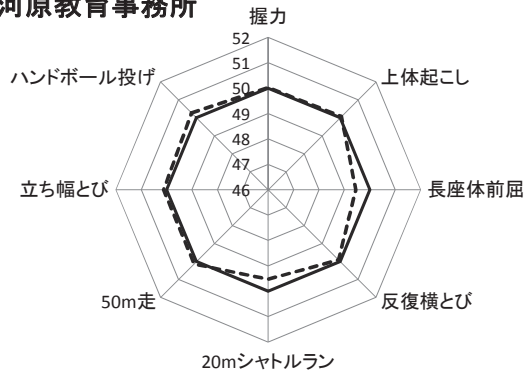


仙台市教育委員会

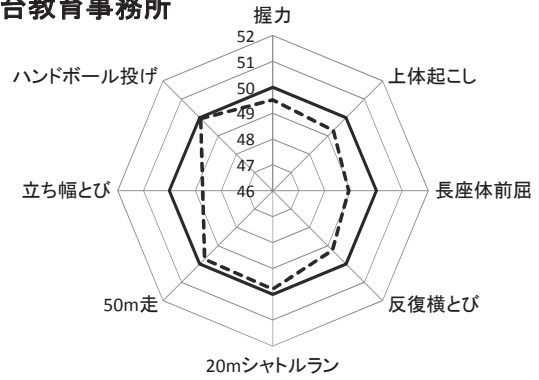


【中学校2年生女子】 (50の実線が県平均)

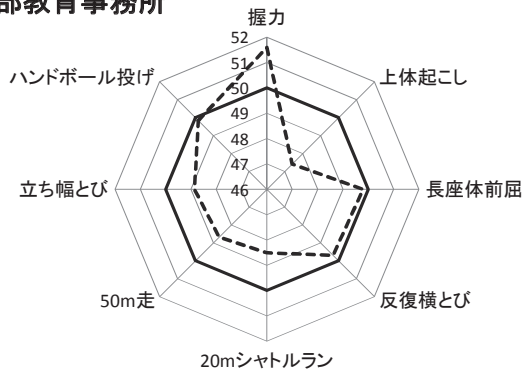
大河原教育事務所



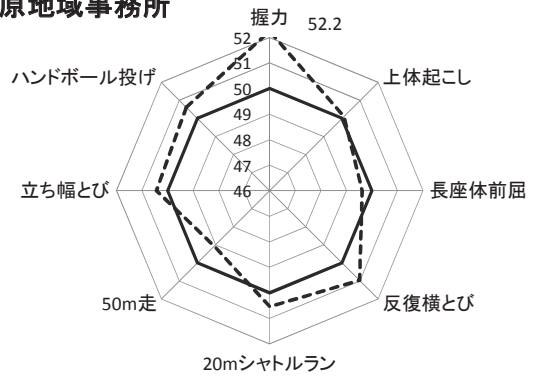
仙台教育事務所



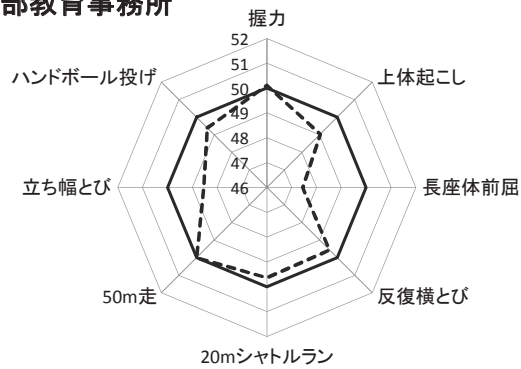
北部教育事務所



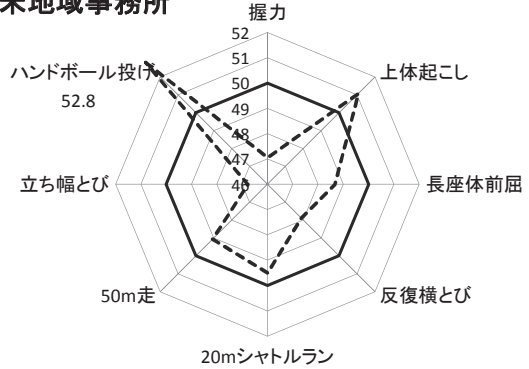
栗原地域事務所



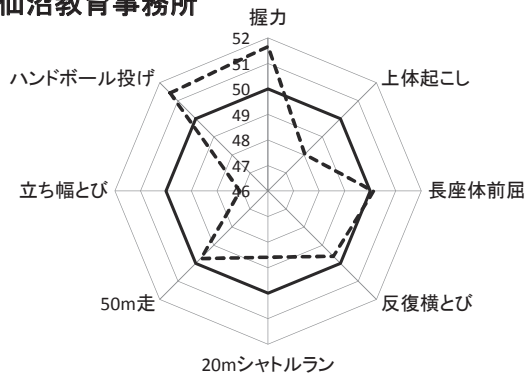
東部教育事務所



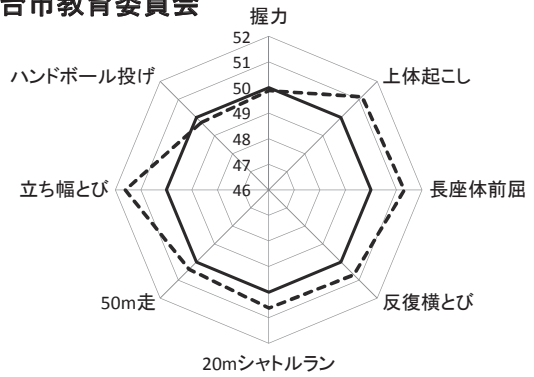
登米地域事務所



気仙沼教育事務所



仙台市教育委員会



【地域別結果の概要】

| 圏 域 | 結 果 |
|----------|--|
| 大河原教育事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校女子では、8種目中、長座体前屈以外の7種目で県平均を上回っている。 ・男子に比べ、女子において小・中ともに県平均を上回っている割合が高い。 ・小・中学校男女ともに立ち幅跳びは、県平均を上回っている。 ・小・中学校男女ともに長座体前屈は、県平均を下回っている。 |
| 仙台教育事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校ともに、県平均を下回る割合が高い。 ・握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅跳びは、小・中学校男女全てで県平均を下回っている。 ・小学校男女ともに、50m走、ソフトボール投げで県平均を上回っている。 |
| 北部教育事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校ともに、県平均を下回る割合が高い。 ・中学校男女ともに、握力において県平均を上回っている。 ・握力と立ち幅跳び以外の種目で、小・中学校男女ともに、県平均を下回っている。 |
| 栗原地域事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校男子を除き、県平均を上回る割合が高い。 ・小学校男女ともに、立ち幅跳び県平均を大きく上回っている。 ・握力は、小・中学校男女全てで県平均を大きく上回っている。 |
| 東部教育事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校男女ともに、県平均を下回っている割合が高い。 ・小・中学校男女ともに握力は県平均を上回っている。 ・中学校男女ともに50m走において、県平均を上回っている。 |
| 登米地域事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校女子を除き、県平均を上回る割合が高い。 ・小学校女子は、全種目で県平均を上回っている。 ・小学校男女ともに、立ち幅跳び、50m走、反復横跳びにおいて県平均を大きく上回っている。 ・中学校男女ともに、ハンドボール投げ、上体起こしで県平均を上回っている。 |
| 気仙沼教育事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校男女ともに、県平均を下回っている割合が高い。 ・小学校男女ともに、長座体前屈で県平均を大きく上回っている。 ・小・中学校男女ともに、握力で県平均を上回っている。 ・小・中学校男女ともに、50m走で県平均を下回っている。 |
| 仙台市教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校男女ともに、県平均を上回る割合が高い。 ・各種目に偏りのないバランスの良い結果となっている。 ・上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m走、立ち幅跳びは、小・中学校男女全てで県平均を上回っている。 |

3 平成29年度宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査 平均値 一覧

| 男子 | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (点) | 20mシャトルラン (折り返し数) | 持久走 (秒) | 50m走 (秒) | 立ち幅とび (cm) | ボール投げ (m) |
|--------|--------------|--------------|---------------|--------------|----------------------|------------|-------------|---------------|--------------|
| 小学校1年生 | 9.28 | 11.42 | 25.86 | 26.67 | 17.45 | | 11.72 | 109.25 | <u>8.41</u> |
| 小学校2年生 | 10.83 | 14.07 | 27.54 | 30.34 | 26.43 | | 10.84 | 120.77 | 11.98 |
| 小学校3年生 | 12.65 | 16.09 | 29.38 | 33.98 | 34.29 | | 10.31 | 130.26 | 15.76 |
| 小学校4年生 | 14.39 | 17.84 | 31.20 | 38.14 | 42.06 | | 9.84 | 139.81 | 19.48 |
| 小学校5年生 | 16.54 | 19.70 | 33.42 | 41.96 | 49.58 | | 9.45 | 148.70 | 23.18 |
| 小学校6年生 | 19.41 | 21.50 | 35.40 | 45.22 | 56.95 | | 9.07 | <u>158.82</u> | <u>26.60</u> |
| 中学校1年生 | 23.71 | 23.50 | 39.06 | 48.75 | 67.29 | 445.39 | 8.64 | 176.01 | <u>17.01</u> |
| 中学校2年生 | 29.19 | 27.52 | 43.45 | 52.08 | 83.48 | 402.65 | 8.01 | 193.46 | <u>19.72</u> |
| 中学校3年生 | 34.01 | 29.68 | 47.73 | 54.82 | 90.45 | 382.92 | 7.61 | 208.54 | 22.24 |
| 高校1年生 | <u>37.27</u> | 29.54 | <u>47.47</u> | 56.37 | 83.78 | 394.29 | 7.51 | <u>214.75</u> | <u>23.18</u> |
| 高校2年生 | 39.67 | 31.00 | 50.00 | 57.91 | 90.01 | 379.01 | 7.32 | 221.65 | <u>24.89</u> |
| 高校3年生 | <u>41.36</u> | 31.85 | 51.09 | 58.80 | 90.35 | 381.87 | 7.24 | 224.60 | 26.18 |

| 女子 | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (点) | 20mシャトルラン (折り返し数) | 持久走 (秒) | 50m走 (秒) | 立ち幅とび (cm) | ボール投げ (m) |
|--------|--------------|--------------|---------------|--------------|----------------------|------------|-------------|---------------|--------------|
| 小学校1年生 | 8.70 | 10.74 | 27.75 | 25.66 | 14.86 | | 12.05 | 102.10 | <u>5.67</u> |
| 小学校2年生 | <u>10.23</u> | 13.44 | 30.29 | 29.42 | 21.11 | | 11.14 | 113.26 | 7.55 |
| 小学校3年生 | 11.95 | 15.31 | 32.29 | 32.82 | 26.66 | | 10.57 | 123.17 | 9.61 |
| 小学校4年生 | 13.82 | 17.00 | 34.82 | 36.85 | 32.76 | | 10.09 | 133.17 | 11.78 |
| 小学校5年生 | 16.27 | 18.57 | 37.36 | 39.98 | 39.31 | | 9.71 | 141.90 | 13.94 |
| 小学校6年生 | 19.34 | 19.73 | 40.18 | 42.90 | 44.38 | | 9.33 | 150.72 | 15.93 |
| 中学校1年生 | 21.42 | 20.52 | 42.52 | 45.02 | 49.68 | 309.71 | 9.17 | 161.07 | 10.74 |
| 中学校2年生 | 23.73 | 23.73 | 45.54 | 46.49 | 56.78 | 294.45 | 8.85 | 165.70 | 12.06 |
| 中学校3年生 | 24.93 | 24.48 | 47.56 | 46.72 | 56.52 | 296.94 | 8.82 | 167.71 | 12.80 |
| 高校1年生 | 25.26 | 23.39 | 46.53 | 47.76 | 49.10 | 310.11 | 8.93 | 167.33 | 13.05 |
| 高校2年生 | 26.21 | 24.04 | 47.91 | 48.12 | 50.09 | 308.70 | 8.91 | 167.84 | <u>13.34</u> |
| 高校3年生 | 26.86 | 24.71 | 48.89 | 48.68 | 49.88 | 309.47 | 8.90 | 168.73 | 14.00 |

※ボール投げは、小学校はソフトボール投げ、中・高等学校はハンドボール投げ

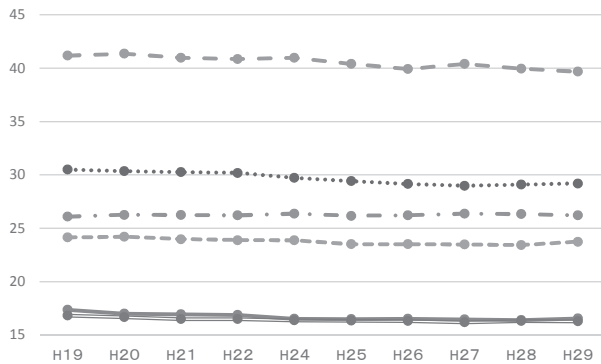
体力向上プロジェクト事業が始まった平成15年度からの県平均の最低値
 体力向上プロジェクト事業が始まった平成15年度からの県平均の最高値
 体力向上プロジェクト事業が始まった平成15年度からの県平均の最高値と同記録

4 中期経年変化(平成19年度～平成29年度)[小5・中2・高2男女]

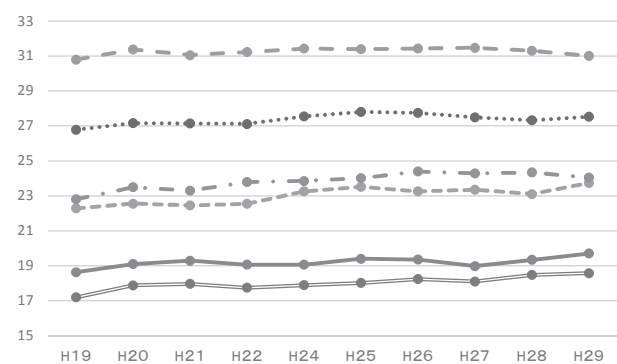
体力・運動能力調査の結果について、中期的な推移をみるため、平成19年度から平成29年度まで(平成23年度は調査を実施していない地域もあり、参考値として除いている。)の経年変化をグラフで表した。比較の対象は、スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の対象学年(小学5年生、中学2年生)及び、高校2年生とした。

● 小5男 ● 中2男 ● 高2男
○ 小5女 ○ 中2女 ○ 高2女

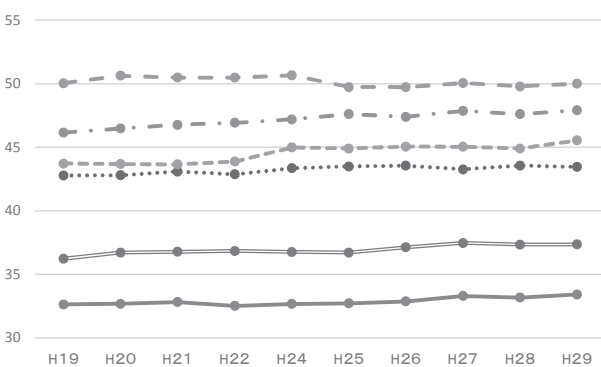
〔握力(kg)〕



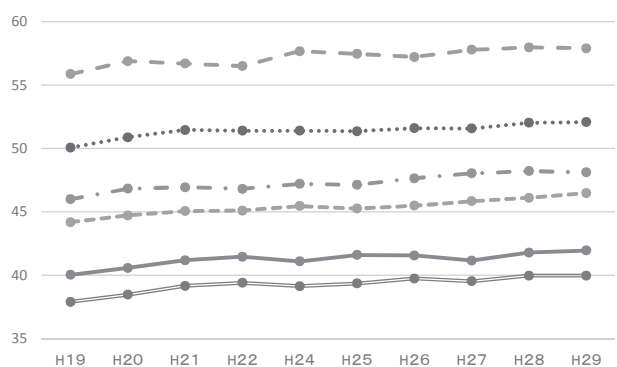
〔上体起こし(回)〕



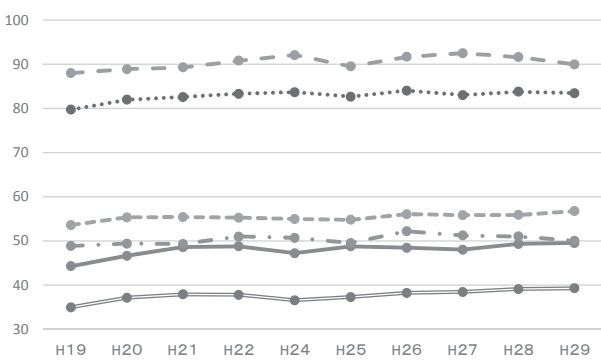
〔長座体前屈(cm)〕



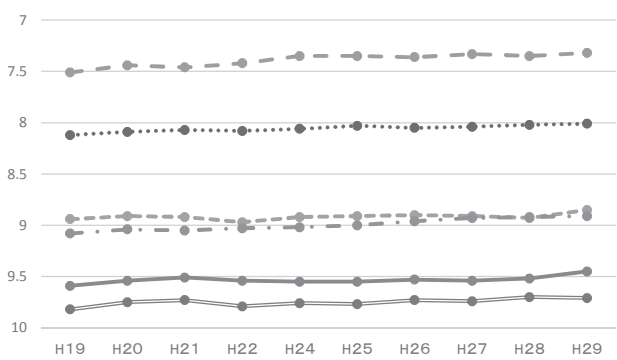
〔反復横とび(点)〕



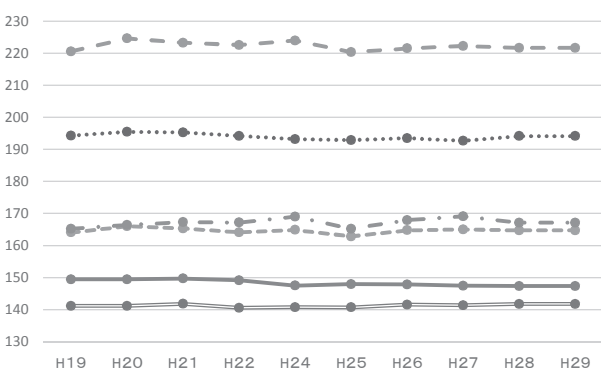
〔20mシャトルラン(回)〕



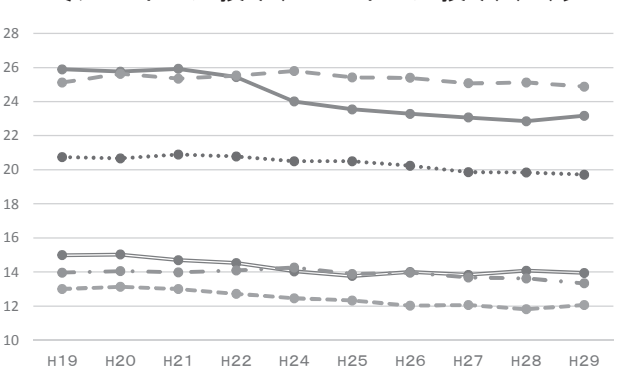
〔50m走(秒)〕



〔立ち幅とび(cm)〕

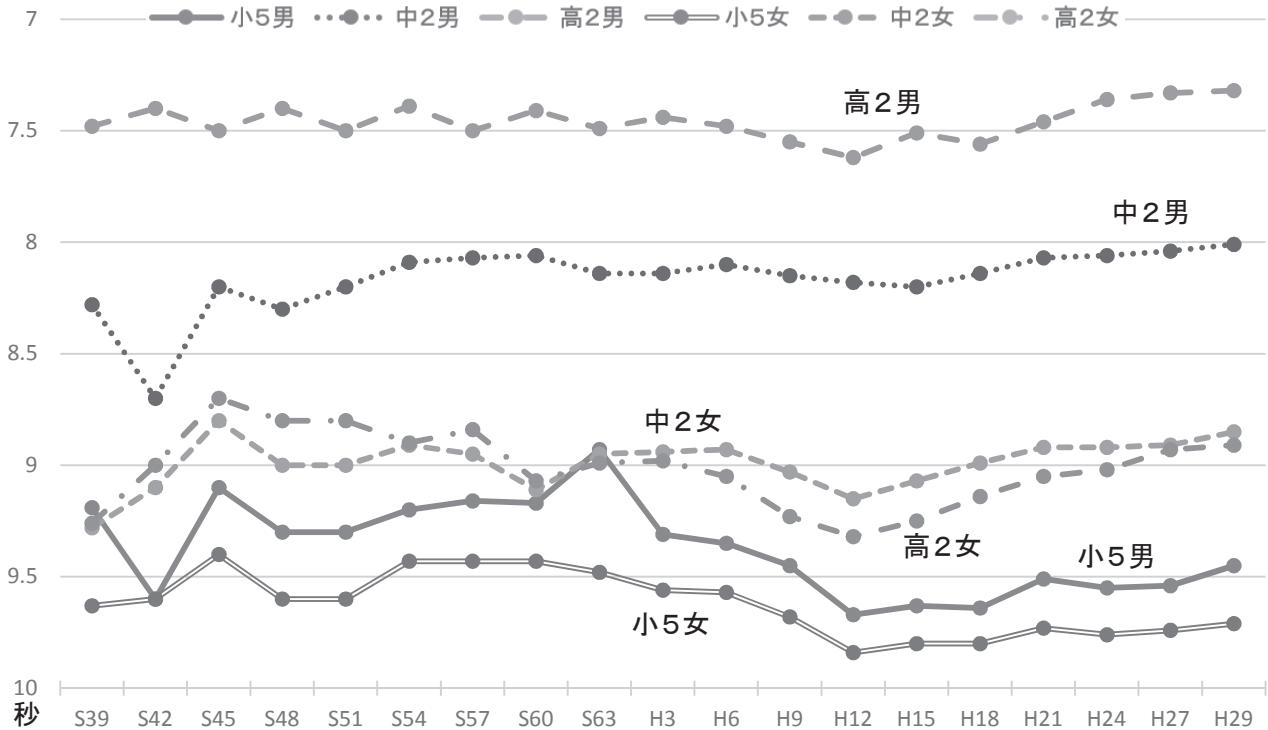


〔ソフトボール投げ(ハンドボール投げ)(m)〕



5 長期経年変化（昭和39年度～平成29年度）〔50m走：小5・中2・高2男女〕

体力・運動能力調査の結果について、県内における長期的な推移をみるため、昭和39年度から平成29年度までの経年変化をグラフにまとめた。なお、比較の対象としては、児童生徒の走力を反映すると考えられる「50m走」の結果を取り上げることとした。併せて、対象学年としては、スポーツ庁が実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」対象学年の小学5年生、中学2年生に加え、高校2年生の結果を取り上げることとした。



【中期経年変化結果概要】

| | 概 要 |
|------|--|
| 小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走は、男女とも向上傾向が見られる。 ・握力、長座体前屈、立ち幅跳びは、男女とも横ばいの傾向を示している。 ・ソフトボール投げは、平成22年度以降低下していた男子で向上が見られた。女子は25年度以降低下に歯止めがかかっている。 |
| 中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・握力、ハンドボール投げは、男女とも継続的に低下している。 ・上体起こし、反復横とび、50m走は、男女とも向上傾向が見られる。 ・立ち幅跳びは、平成19年度以降横ばいで推移している。 |
| 高等学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・握力、長座体前屈は、男子で低下傾向が見られる ・反復横とび、50m走は、男女とも向上傾向が見られる。 ・立ち幅跳び、ハンドボール投げは、横ばいの傾向にある。 |

【長期経年変化結果概要】

| | 概 要 |
|------|---|
| 小学校 | 昭和63年度をピークに平成12年度まで低下していたが、それ以降は低下に歯止めがかかり、平成21年度までは向上傾向も窺わせた。その後いったんは低下したものの、緩やかな向上が続いている。 |
| 中学校 | 男子は、平成15年度以降、緩やかな向上傾向にある。女子についても男子同様、平成12年度以降向上傾向にある。 |
| 高等学校 | 中学校と同様に平成12年度までは、上昇下降を繰り返しながらやや低下傾向にあったが、平成15年度以降は向上傾向にある。 |